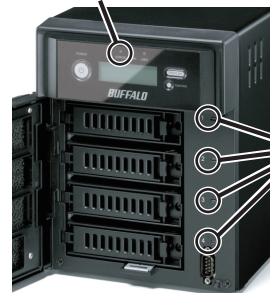
ハードディスク交換手順

TeraStation内蔵のハードディスクが故障すると

TeraStation内蔵のハードディスクが故障すると、ERRORランプが赤色に点灯します。
TeraStationの前面カバーをあけて、ステータスランプが赤色に点灯しているハードディスクが故障しています。TeraStationの電源がONの状態でも、Windows Storage Server上のRAID Builderで故障したハードディスクの取り外し処理（ハードディスクの電源をOFF）をしてからハードディスクを取り外して、新しいハードディスク(対応交換ハードディスク：**弊社製OP-HDシリーズ**)に交換することができます。

※RAID Builderで取り外し処理をしていないハードディスクは、TeraStationの電源がONの状態で絶対に取り外さないでください。取り外した場合、データの消失およびTeraStationが故障する恐れがあります。

※TeraStation本体の電源がOFFの状態のときは、ハードディスクの電源もOFFになっています(交換できます)。

※本体の電源がONの状態でハードディスクを抜き差しすることを「ホットスワップ」と呼んでいます。

前面カバーをあけた図

ハードディスクの交換手順例

⚠注意
- TeraStationは精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStationは約8kgの重量があります。落としてけがすることがないよう慎重に作業を行なってください。
- TeraStation内部の金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行なってください。
- ハードディスクを交換する場合は、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。TeraStationの分解によって生じた故障や破損は、弊社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属(ドアノブやアルミサッシなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- ハードディスクの交換には、別売の弊社製ハードディスクOP-HDシリーズ(故障したハードディスクと同容量)に交換ください。
- すでに他のTeraStation/LinkStationやコンピューター等で使用したことがあるハードディスクと交換しないでください。交換した場合、本製品のデータを破損・消失する恐れがあります。本製品対応の交換用ハードディスクは「OP-HDシリーズ」です。
- ハードディスクの順番を入れ替えないでください。順番を変更した場合、本製品のデータを破損・消失する恐れがあります。
  例）4台中1番上にあるハードディスクを抜き出し、2番目にあるハードディスクと差し替えるなど。
- 起動ドライブ(C:)は1番上にあるハードディスクと2番目にあるハードディスクでRAID1に構成されています。これらを一度に交換しないでください。
- ファイルの保存中にハードディスクを交換するとファイルが破損する恐れがあります。必ず作業中のファイルは保存を完了してから作業してください。

手順1～7はTeraStationの電源がONのままハードディスクを交換するための手順です。TeraStationの電源をOFFにしている場合は、本紙うら面手順8から行ってください。

1 NAS Navigator2を起動します。

※Windows では、デスクトップの [BUFFALO NAS Navigator2] アイコンをダブルクリックします。
※Mac OS では、Dock 内の [NAS Navigator2] アイコンをクリックします。

2 NAS Navigator2のメイン画面に表示されているTeraStationのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから[リモートデスクトップを開く]をクリックします。

※Mac OSの場合は、コントロールキーを押しながらTeraStationのアイコンをクリックし、[リモートデスクトップを開く]をクリックします。

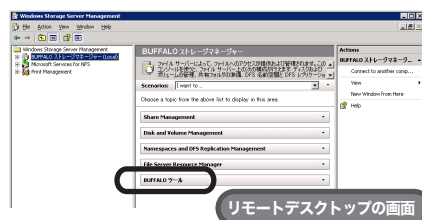
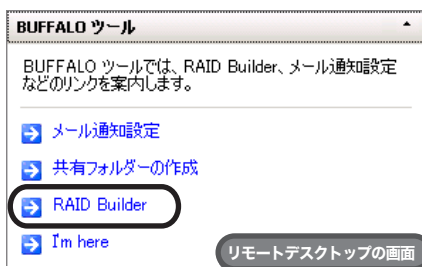
パソコンの画面

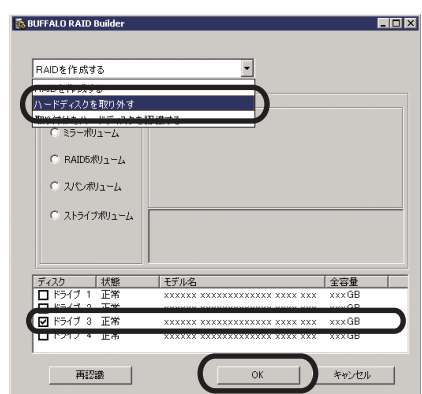
3 表示された画面に、ユーザー名・パスワードを入力し、[OK]をクリックします。

リモートデスクトップの画面

※出荷時設定では、次のようになっています。
ユーザー名：Administrator
パスワード：password

リモートデスクトップの画面内でWindows Storage Serverが起動し、[Windows Storage Server Management]が表示されます。

※Windows Storage Server 上で [スタート]-[すべてのプログラム]-[管理ツール]-[Windows Storage Server management] をクリックしても表示されます。

4 [BUFFALO ツール]をダブルクリックします。

リモートデスクトップの画面

5 [RAID Builder]をクリックします。
[RAID Builder]が起動します。

リモートデスクトップの画面

6 [ハードディスクを取り外す]→取り外すハードディスク(故障したハードディスク)を選択し、[OK]をクリックします。

※故障しているハードディスク番号のステータスランプは赤く点灯しています。

リモートデスクトップの画面

※画面はドライブ3を取り外す例です。

7 「ハードディスクを取り外しました」と表示されたら[OK]をクリックします。

※取り外し処理を完了すると、ステータスランプが赤い点滅から赤い点灯になります。

>>うら面に続く

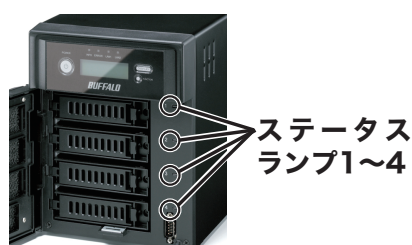
ハードディスクの交換手順例

>>おもて面からの続き

8 付属の鍵で前面カバーを開きます。

9 ステータスランプが赤色に点灯しているハードディスクカートリッジのつまみを左方向に押しながら手前へ引きます。

※写真はドライブ3を取り外す例です。

ステータスランプが赤色に点灯していないハードディスクは電源がONになっています。抜かないでください。データの消失、TeraStationが故障するおそれがあります。

10 カートリッジごとハードディスクを手前に引き出し、取り外します。

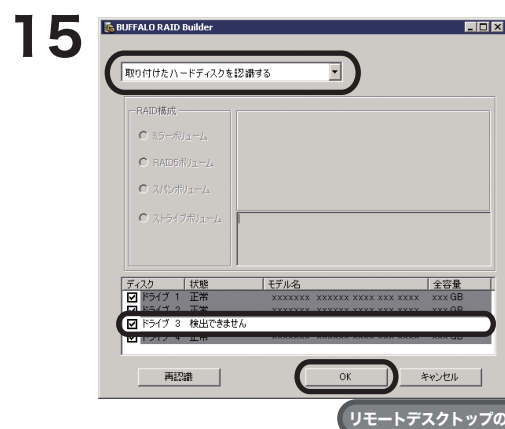
11 別売のカートリッジ付ハードディスクOP-HDシリーズを手順3で取り外したトレーに差し込みます。

つまみを開いた状態で差し込みます。

12 カチンと音がするまでつまみを押さえます。

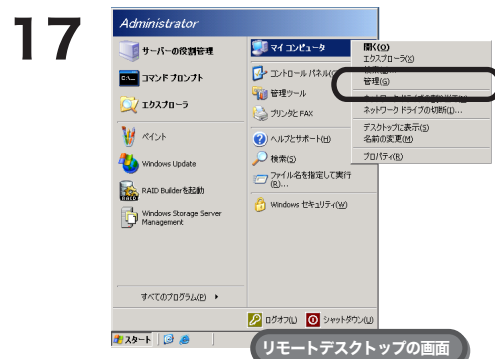
13 前面カバーを閉じ、付属の鍵で固定します。

※TeraStationの電源がOFFの状態でハードディスクを交換した場合は、TeraStationの電源スイッチを押して電源をONにしてください。

14 おもて面の**1**～**5**の手順で「RAID Builder」を起動します。

15 [取り付けたハードディスクを認識する]→取り付けたハードディスクを選択し、[OK]をクリックします。

※すでに認識されているハードディスクはグレー色に表示されています。

リモートデスクトップの画面

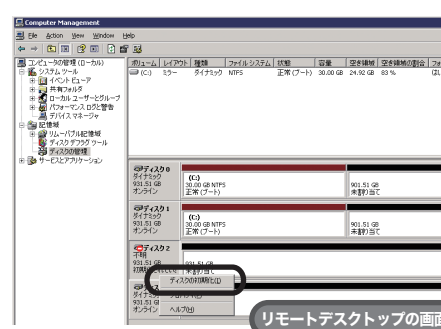
16 「ハードディスクを認識しました。」と表示されたら[OK]をクリックします。

17 リモートデスクトップの画面内、Windows Storage Serverの[マイコンピュータ]を右クリックし、表示されたメニューから[管理]を選択します。

リモートデスクトップの画面

18 [ディスクの管理]をクリックします。

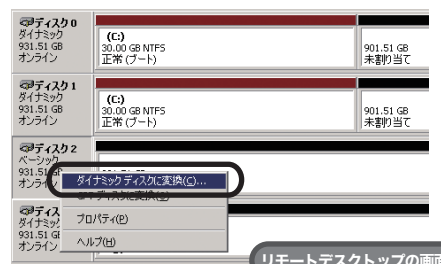
リモートデスクトップの画面

19 交換したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから[ディスクの初期化]を選択します。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

※Windows Storage Serverの[ディスクの管理]画面では、ドライブ1が[ディスク0]と表示されています(同様にドライブ2→[ディスク1]、ドライブ3→[ディスク2]、ドライブ4→[ディスク3]となります)。

リモートデスクトップの画面

20

初期化したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから[ダイナミックディスクに変換]を選択します。

※ダイナミックディスクに変換しない場合、RAIDを構成することはできません。

※システム領域(C：ドライブ)を変換する場合、TeraStationの再起動が必要となります。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

21 **新しいボリュームを作成するときは**

ダイナミックディスクに変換したハードディスクを右クリックし、表示されたメニューから[新しいボリューム]を選択します。

以降は画面の指示にしたがって操作してください。

RAIDボリュームの修復(RAID再同期)を行うときは

1. 「冗長の失敗」と表示されているボリュームを右クリックし、表示されたメニューから[ボリュームの修復]をクリックします。
2. 「次の一覧からディスクを選択してください」と表示されたら、修復するディスクを選択し、[OK]をクリックします。
   ※RAIDの再同期を行うボリュームの数だけ手順1～2を行う必要があります。
3. 「不足」と表示されたボリュームを右クリックし、表示されたメニューから[ディスクの削除]をクリックします。

以上でハードディスクの交換は完了です。